

暗黒街の顔役 (1942)

LUCKY JORDAN

メディア 映画

ジャンル 犯罪 ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 84分

公開情報 劇場未公開・TV放映

【解説】

NY暗黒街の顔役、ラッキー・ジョーダンは腹心の部下スリップに命を狙われたが、いつもは替え玉に先を歩かせるところを、気まぐれに自分が先に行って難を逃れた。かくのごとく、彼はいたって悪運の強い男だったが、さすがに徴兵だけは免れず、新兵キャンプに送られた。金に物を言わせて、そこでも楽をするラッキーに厳しく意見する女性士官のジル。ラッキーは彼女に興味を抱く。彼がまんまと脱走に成功し、逃走する車が追いはぎにあったとき、たまたま通りかかって彼を救けたのも彼女だった。そして彼女は、彼を狙われたのは奪った車の中にあったブリーフ・ケースのせいだ、と言った。そこには軍の機密書類が入っており、事件の裏でスリップが糸を引いていることを知ったラッキーは、ジルをスタンドのトイレに閉じ込め、単身、取引の金を狙ってNYへ舞い戻るのだが……。プロットの要所要所で幼稚さが目立ち、いまひとつピリッとしなが、徴兵逃れに雇った母親役の老女と心通じ合い、その家にかくまわれたりする描写などなかなかいい雰囲気のスリラー。ラッドがやさぐれだが根の善良なボスを好演する。取引の場所がバラ園というのもちょっとふるっている。戦時中ゆえの愛国ムードがうるさいが、こんな戦意昂揚映画なら腹は立たない。

【クレジット】

監督	フランク・タトル	Frank Tuttle
製作	アルフレッド・コールマー	
原案	チャールズ・レナード	
脚本	ダレル・ウェア カール・タンバーグ	Darrell Ware Karl Tunberg
撮影	ジョン・サイツ	John F. Seitz
音楽	アドルフ・ドイッチ	Adolph Deutsch
出演	アラン・ラッド ヘレン・ウォーカー シェルドン・レナード メイベル・ページ メアリー・マクドナルド ロイド・コリガン イヴォンヌ・デ・カーロ	Alan Ladd Helen Walker Sheldon Leonard Mabel Paige Marie McDonald Lloyd Corrigan Yvonne de Carlo